

①先生が子どもに教えたいと思った事がお子様に伝わったとおもいますか？

- お金のむずかしい話をするのは、むずかしい。
- むずかしい税金の話しが、子どもへの質問により引きつけることができていると思う。
- いいえ。小4の子にはとてもむずかしいものだ！！
- 身近な事で、税金の使い道を説明してくれていてわかりやすかったと思う。
- 言葉もむずかしく、4年生には理解できたかは疑問。
- お金の事でも、税金と範囲が狭くなったので多少伝わったと思う。身近な事を例にあげたりして興味を持たせる内容だったと思う。
- 大人の私は難しい話を易しく教えて頂いてわかったが、4年生の子どもには少し難しかったようだ。
- 大人にとってはわかりやすい話でも、もう少し具体物を使ったりしてお金について説明があった方がわかりやすくなると思う。飯島先生は話にメリハリがあり、わかりやすかった。両先生とも難しい話だったが、少し伝わったと思う。
- おこづかいの行方・お金の循環の図を大きく見やすくしていただけると、子どもたちにもわかりやすいと思う。税金のことは身近なことから教えていたので、少し理解できたと思う。
- 「税金」という言葉は知っていたと思うが、その意味など初めてきちんと理解できたと思う。
- 話が小学生にはむずかしすぎると思った。
- とても大きいテーマなので、わかったようなわからなかったような そんな感じだと思う。でも目に見えない、自分の知らない所でのお金の使われ方に興味を持つ、よいきっかけになったと思う。
- 休み時間に孫に聞いてみた。前半はよくわかり、後半の歴史の話はまだわからなかったと言っていた。税金の話は日常会話の中で「僕も消費税を払っているね。」と話していたので、身近に感じられた税金だと思う。
- 1時間目は少し内容が難しかったのか、少し教室がざわついていて。子どもが知らない言葉がたくさん出てきたので家で復習しようと思う。2時間目はわかりやすかったと思う。
- 伝わらなかったと思う。最も重要なのは循環なのでは と感じた。その点をわかりやすくご説明いただければと思った。
- 伝わったと思う。非常にわかりやすかった。
- 少し難しい言葉が多かったので、伝わっていなかったように思う。
- 声が大きく、言葉も聞きやすかった。少しは理解できたように思う。
- 子どもたちの興味をそそるような話題で、よく伝わったと思う。
- 経済（お金の流れ）について、興味を持ってくれたのではないかと思う。税金がなぜ必要なのか、どのように役に立っているのか、身近なところで使われている などがよく分かったのではないかと思う。
- 難しいテーマと話だったが、なんとなく理解し興味を持てたことが何よりだった。
- 話し方もゆっくりで、優しい声なので聞きやすかったと思う。
- テーマが少し難しいかな？と思う。
- 具体的な事例、数字を出してくださったので子どもたちもわかりやすかったと思う。
- お金や税金は身近なものだが、わかりにくいものだと思う。言葉の一つ一つが難しかったと思うが、お金や税金について興味を持つきっかけになったと思う。

- 内容が比較的難しかったので、全部の内容を理解できなかったと思うが、自宅に帰ってから要点を復習したい。
- とても分かりやすく、聞きやすく良かったと思う。ただ「『税があるから安心して暮らせる』ということがわかりましたか？」の質問に「そうは思わない」「わからない」との感想が子どもから聞こえたので大変残念に思った。
- 子どもたちが授業に入っている一体感を感じた。子どもは子どもなりに、税金やお金の大切さを感じとっていると思う。
- 値段の決まる仕組みをもう少し噛みくだいて説明いただくと伝わったと思う。1945～1990年の日本の成長（生活レベルの向上）についての説明はわかりやすく子どもたちに伝わったと思う。
- 税金がなかったら」観点での税金の大切さについて説明して下さったのは、子どもにとって大変わかりやすいと感じた。丁寧な講義、ありがとうございました。
- お金がどこから来てどこへ行く といった流れが子どもたちに伝わりやすかったのではと感じた。
- 伝わったと思う。税金制度がないと警察も救急車も有料になったりと、その大切さが分かったと思う。（税があるから安心して暮らせること）
- 税の大切さは伝わったと思う。
- 税がなかったらどんなに不便になるか、具体例を示して子どもにもわかりやすく話して下さった。
- わかりやすいと思った。例えが上手！！
- 子どもには少し難しかったと思う。
- 難しい話をわかりやすく話して頂けたと思う。
- 日本の昔のすばらしさ、これから国を築き上げるのは子どもたちだということがよく伝わっていると思う。
- 税の無い生活の大変さがよく伝わったと思う。
- 税の大切さがよく伝わったと思う。
- 国の借金という考え方が伝わったと思う。
- 世の中のお金の流れや仕組みが子どもに伝わったと思う。また、知らない言葉などには興味を持ったのではと思う。
- 普段なにげに利用しているいろいろなモノが税金が元になり運用され便利な生活が送れている事や、税金の大切さが伝わったと思う。
- とてもわかりやすい授業だったと思う。納税の目的は、子どもたちに伝わったと思う。
- 難しいテーマだったが「税金」が何に使われているのか、子どもの身近な学校の事をとり上げて説明して下さったこと。
- 国民の納める税金が、国の様々な所で役立てられている事がよくわかったと思う。教育分野でも多大な税金が使われ、子どもたちも恩恵を受けている事がわかったと思う。
- スライドとゆっくりとしたお話し仕方、適度な質問などで伝わったのではないかなと思う。
- 少し難しかったが伝わったと思う。
- 具体的な例もたくさんあり、わかりやすかったので伝わったと思う。
- 難しい内容だったと思うが、なんとなくでもお金の大切さがわかったと思う。
- 税金の目的、必要性など身近なことでの説明が非常に良かった。

②先生の話す速さや言葉は、ちょうどお子様達に理解できたと思われませんか？

- むずかしい。もう少し絵や写真などパワーポイントを使ってほしい。
- 身近なところから、むずかしい話をゆっくりした話し方で子どもたちをひきつけていた。
- 話す展開が早すぎるのでは??もっとゆっくり進めてほしい!!
- ゆっくりと話してくれ、また子どもたちに質問しながら話をしてくれたので、あきずに聞けたと思う。
- 範囲が広いので、むずかしいかと感じた。
- 声が良く通り、聞きやすかったと思う。
- お話の速さはわかりやすかったと思う。
- 飯島先生はとてもわかりやすくよかった。
- 聞き慣れない言葉が多く、子どもには難しかったと思う。
- 4年生には時々むずかしい言葉もあったが、声がよく通ってとても聞きやすかった。
- 言葉もむずかしかったので、クイズ形式や質問などをたくさん取り込めば理解できるかなと思った。
- ちょうどよかったと思う。特に飯島先生の話は、声のトーン、スピード、内容がとてもよかったと思う。
- 理解しやすい口調で上手にお話しされ、祖母の立場の私もあつという間に時間が過ぎた。もっと聞きたい。
- 先生はお二方とも、ていねいにわかりやすく話されていたと思う。
- 要約のうまさは素晴らしいと思う。ちょっと速すぎたのではと感じた。
- 理解できたと思う。一見難解に見えた。
- わかりやすい速さだったと思う。
- よく通る声で聞き取りやすかったと思う。
- 飯島先生はとてもわかりやすく、話し方にもとても好感が持てた。私もとても興味深く集中して聞くことができた。
- 少し一方通行だったように感じ残念に思った。
- 税の使われ方は、とってもわかりやすかった。
- 話すだけではなく、体験・体感した授業にして頂けたら子どもたちも理解できるのではないかな?
- 速さは子どもたちにわかりやすいと思うが、言葉はわかりづらいものがあったので、今後は自分自身で調べて身につけて行って欲しいと思った。
- 話の要点を強調したり、話し方に強弱早遅をつけてとても聞きやすかった。話し慣れている感じがした。
- 少し言葉がむずかしかったかもしれない。
- 難しい内容を具体例を示して、わかりやすく話していただき大人も子どもも興味深く聞くことができたと思う。
- もう少しゆっくり、話しかけるようにお話し頂けるともっと伝わると思う。
- 難しい言葉を避けてわかりやすい単語を使用して頂いたので、理解できたと思う。

- ちょうどよかったと思う。
- 納税義務の必要性が理解できたと思う。
- わかりやすかったと思う。
- 消費税を住宅や車に例える等わかりやすい大きな金額だった。
- 耳が自然にかたむく すばらしいお話だった。
- 子どもたちの反応が返ってきていたので、ちょうどよかったと思う。
- 飯島先生、声が大きくてよかった。
- 画面に文言ばかりで、もう少しグラフなどを入れたほうがよいと思った。話す速さに異議は無い。
- 子どもの興味をひく話し方はよかったと思う。
- 速さ、言葉づかい、大きさ ちょうどよかった。
- 大きな金額の話だったので実感がわかなかったかもしれない。語りかける話し方だったので聞きやすかった。
- 子どもにとっては少し難しかったのか、子どもがあまり集中していなかった。前回はクイズがあったりと気を引く楽しさがあったかも？
- 子どもたちに質問をしたり話し掛けたりと子どもの気を引くような取組みや、話す速さも聞き取りやすくわかりやすかった。
- 言葉がわかりやすくてよかった。身近な内容の例も理解しやすかった。
- よく聞き取れた。また、言葉も理解できる選び方だった。
- ゆっくりと話して下さったので、わかりやすかったと思う。
- 話し方や速さはちょうどよい。また、難しい言葉は少し言いかえたりして工夫しておられてよかった。理解できなかったことは、あとで聞いてくれたり調べてもらいたい。
- 飯島先生はとてもわかりやすい言葉づかいでよかったと思う。
- 飯島先生のお話は、話し方・スピード 大変興味深く聞けたと思う。
- お金の流れの授業は、ペースが早く説明も聞きづらい。要点がわからない内容である。
- 税金の話は、声・内容ともすばらしいものだった。

### ③ご自身で印象に残った事や新たに発見した事がありましたか？

- 飯島さん！話し方とてもわかりやすかった！！もっと聞きたいな～！！（税金の件）
- 水道水がおいしく飲める事や、道路が整備されている事が当たり前のようになっているので、あえて考えた事もなかったが、すべて税金から成り立っているということを再認識させられた。払う時は税金が安いと思うが、自分達に返ってくる事を考えるとしっかり払わなければと思った。
- 税と子どもの生活に関連付けた話がよかったと思う。
- 講義とは離れてしまうが、“社会のこと”に興味をもち知識のあるお子さんがいることにおどろいた。子どもには日々の生活の中で社会のことをもっと知って欲しいと感じた。もっと新聞を読んだり、ニュースについて話したりしたいと思う。
- 子どもにも関係したお金の話があるんだなあとおもった。
- 税金のありがたさがあらためて感じられた。

- 消費税の話などあらためて考えさせられた。
  - 税金の大切さ。
  - 人間社会は平等だと思うか、不平等だと思うか？の質問に平等と思う子たちが0人だったこと。子どもたちの感じる心、見る目にうつった姿だと思う。この子たちが将来住みやすい国を作ることに期待したいと思う。
  - 税金の話は興味深かった。中学生になると税金に関する作文コンクールがあるとは知らなかった。税金が何に使われているか、具体的な数字が示されて大変わかりやすかったと思う。
  - 今後の子どもへのメッセージ（キャリアプラン・オリジナリティ・グローバル化）は現在の従業員の人材育成にぴったりとマージできる。育成促進を強く感じた。
  - 税金はカタチをかえて戻ってくるのが再認識できた。
  - 大人でも知らないことがあった。税金の使いみちや身の回りにあることで払っていても、また戻ってきていると学んだ。
  - 税金について知らないことも多く、大変勉強になった。
  - 税金がなかったら、ゴミ収集や救急車にいくらかかる といった具体的な数字は子どもたちも興味をひかれたと思う。
  - 飯島先生の税金の話聞いて、国の借金がたくさんあるのだから消費税を上げる議論もやむを得ないのかなと ちょっと感じた。
  - 納めるばかりと思いがちだったが、自分たちの生活にも使われているのが改めてわかった。
  - 税金の種類は22種類もあるんですね。考えてみたけれど10種類位しか思いつかなかった。家に帰って国税庁のHPを見てみようと思う。払っているのに気がつかないんですね。勉強しなくては！
  - 消費税は日本が一番低かったのですね。
  - 税金については私自身もわからない事があったので、今回の授業で勉強させてもらう事が多々あった。
  - 三種の神器、傷痕軍人…最近街で見かけなくなった。（いやもうかなり以前から）
  - 厚さ比べ 100万円→1cm 1億円→1m 10兆円→100km（東京⇄高崎間くらい）税金が無かったら…の話。13億円必要／小学校1つ作るのに。公立…無料。
  - 消費税のパーセンテージが日本が一番低いというのは、はじめて知った。
  - 税金がなかったら、都度支払いが生じてしまい大変なことになるということがわかった。お金の大きさは漠然としていたが、お金を積み重ねて距離に換算したりとても楽しかった。
  - 人間社会が不平等だと思う子どもが多かったことにはショックを受けた。大人の私の方が理想主義者なのかもしれない。子どもの方が俗人的で現実的なのですね。
  - 大人にとっては一般教養として知っておくべき事。当然ながら皆さんご存知な事だが、子ども達にとっては縁遠いことと思う。これを機会に税の大切さ、学ぶ大切さを家庭で話したいと思う。
- ※税金クイズ、チャレンジしてみます！
- なるべく税金は平等になるように出来ていること。中国でも消費税を支払っていること。（社会主義の国でも税があること）
  - 税金が正当に使用されていれば払うことにも疑問はないのだが。
  - 義務教育12年間で1000万円強もかかっていることを再認識した。

- 税についてはテレビ・新聞・雑誌等でよく耳にするが、実際わかっていそうでわかっていないんだと思った。
- 国へ納める税の種類が22もあるのを恥ずかしながら知らなかった。小学校1校作るのに13億円かかるのも知らなかった。
- 戦後の復興の映像は感慨深いものがあった。
- バブルのはじけた後に、人々は物を買わなくなった。
- 税の種類が多さ。
- おこづかいを例えにしており、子どもにもわかりやすかったと思う。  
納税の義務→学校や道路が作られたり、災害時に助けられるなど。興味をもつことができた。  
日本が豊かなのは過去に頑張ったから→今後は子どもの君たちにかかっている。
- 高度成長期の日本の凄さ。現在の日本の国民総生産、日本の借金。
- なかなか学校では税金の話は聞かないので、おもしろい話が聞け興味を持った。  
日本国憲法→国民の権利 国民の義務①教育②勤労③納税 小学校を造るのに13億円掛かる  
小学校・中学校・高校12年間で1000万円/1人 家庭のゴミ処理費1戸数千円、警察4万円  
病院8万4千円 ※公共サービスは税金の対価！
- 国のお金（税金）の流れがわかった。
- 国が子どもたちに使用している教育費を理解し、勉強に取り組んでほしいと思った。
- 日本の税金の使われ方、消費税の低さなど改めて勉強になった。安心して暮らせるのは税金のおかげ。
- 最初のお札は関ヶ原の戦いの年であるということ。思っていたよりかなり古いため。
- 人生は競争である。負けたくないから努力していく。
- 国の予算の4割が税金で、借金が非常に多いということを再認識した。
- 日々の暮らしと税金のかかわりについて再発見。
- 高い高いと思っている税金。使い道を改めて勉強し、大切だと痛感した。ただガソリンや酒など二重の税金には納得できないが。日本はいろいろな面で恵まれていると実感した。

④その他に感じたことを自由に書いてください。

- 日本国家のために大切な税金を使って、我々のために何をしてくれているのか？この目で見てみたい。また、実際に子どもに見せたいものだ。
- 国会議事堂へ行った事があるかとの質問に、親の私自身も行った事がない事に気がついた。
- 税の大切さがわかった。消費税が上がったら、今の生活が向上するならよいけれども…。といつも思う。
- 税金（消費税）を10%にすることに今まで反対だったが、国債の割合の大きさに驚き税率を上げることも少し考えるべきかと思った。所得の少ない人の負担が大きくなる対策は考えないといけないが…
- 友達同士で来ている子たちのおしゃべりが目立っていた。席をバラバラにするなどしてみたらどうか？

- たまたま中国の問題が起きている中での授業だった。この子たちの未来は？と案じていた中での授業だったが明るい未来に向けての知識を与えて下さる機会を有りがたく思った。ボランティアの皆様に感謝申し上げます。(63才)
- 会計事務所に勤めているが、子どもに仕事の内容を聞かれても「お金の計算」ぐらいしか答えてやらなかったので、少し反省した。今日は少し理解してもらえたのではないかなと思う。子どもに聞かれてもわかりやすく答えられるよう、私も勉強しようかな…と思った。
- 飯島先生の講義、おもしろかった。義務教育でも国が教育費を負担してくれていることを理解した。
- 日本の税金(消費税)がとても安く、子どもたちから「日本に生まれてよかった」という率直な子どもらしい意見が出ていた。興味深く話を聞いている子どもたちが多くよかったと思う。
- 10兆円とはどれくらいか？たとえが面白かった
- モニターに映る資料がカラフルで見やすかったと思う。
- 諸先生方のお話を聞いて毎回思うこと—子どもたちをこの先の未来のために大きく育てようと、たくさん良いお話をしてくださることに大変感激している。子どもたちの心に何か少しでもひびいてくれるといいなと願う。
- 子ども大学だが、大人も勉強になる。
- お金の大切さがわかったと思う。税金が具体的にどのように使われているか金額がいくらかなど、わかりやすく説明していただき、ありがとうございました。
- 人は死ぬ時は貴賤の分け隔てなく公平、平等であること—秀吉の言葉。
- あらためて税金の必要性(納税の重要性)が理解できた。大人でも多くの人が興味深く話を聞けたと思う。
- 税…公共サービスの対価。
- 酒井先生、飯島先生とも子供たちに将来、得意なことでがんばってもらいたいことを伝えていただいたので、子どもたちがきちんと受け止めてくれるとよいと思う。
- 授業中にマンガを読んだり、遊んだりしている子どもがいて残念だった。
- 今回の授業は小中学生全員に受けてもらいたいと思う。町・市・県・国どのように成り立っているのか？消費税、税の使い道、税金の種類—学校の時間割に組んでいただきたい。成長するにあたり一番身近な問題であるのではないかな。
- むずかしいテーマだが、子どもの頃から税の大切さや納税の重要性を教えることは、大変有意義であると思う。まずは税に興味を持ってもらうように家庭でも話題にしようと思った。
- 税金・経済学は今の日本には必須で、小学校からもっと教えていくべきだと思う。税金に興味を持っていくべき！
- お金は日常使っているのに淡々と使っているのか、お金の役割を知らなかった。子どもにはわかるかな？と思ったが詳しく教えてもらいわかったと思う。税金の先生は例えが多くて聞いている私まで、うん！うん！とうなづいていた。
- 税は大切なものだという事を子どもにわかりやすく説明してくださり、ありがとうございました。
- 税の重みと必要性を子どもと一緒に考えてみたいと思う。ありがとうございました。
- 日常とケタの違うお金をイメージするのは難しい！
- 人々は金がすべてになってしまった。

- 資料にイラストが多用されていてよかった。
- 未来に展望が持てる内容だった。
- 今日は親子共いい勉強になった。
- 子どもたちの「授業に臨む姿勢」について気になる事が多々あった。問われているのは保護者の姿勢かもしれない。帰宅してから、講師の方に失礼な態度がなかったかどうか、子どもと確認したい。遊びに来る場所ではなく、学ぶ場所です。
- 映像を利用し説明されたので子どもたちもあきる事がなく集中して授業を受けられたと思う。
- 家に帰ったら子どもと今日の授業について話し合いをしてみようと思う。子どもの得意分野を伸ばせるよう、応援していきたいと思う。
- 大学生であるから、きちんと授業を受けて欲しいと思った。私語等が多いように感じた。
- 前半のパワーポイントの資料は本当に子どもを対象としているのか疑問。本日全て税理士の先生の講義にして欲しかった。